

岩手県における障がい者雇用事例

有限会社 佐藤クリーニング

(平成27年度 岩手県知事表彰)

有限会社佐藤クリーニングは、障がい者の雇用及び障がい者が働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいることから、平成27年度に障がい者の雇用優良事業所岩手県知事表彰を受賞しました。今回、会社を訪問し、工場長の佐藤 久之さんにお話を伺いました。



©わんこきょうだい



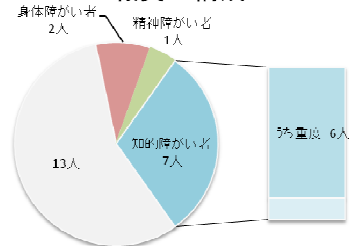
有限会社 佐藤クリーニング

【事業所所在地】盛岡市西仙北1-8-20

【事業内容】洗濯業

【職員数】23名 (H28.1.21時点)

職員の構成



◆ 障がい者雇用の経緯、背景

有限会社佐藤クリーニングは、大正12年に創業。創業当時は個人客が中心でしたが、現在は病院関係の白衣、シーツやタオル等のリネンサプライを専門としています。

平成8年頃に、ある病院から障がい者の雇用について相談を受けたことをきっかけに、障がい者雇用に取り組み始め、現在は10人の障がい者を雇用しています。障害者雇用率も非常に高く、障がい者に働く場を提供するための雇用に積極的に進めており、平成19年には、(社)岩手県雇用開発協会会長表彰を受賞しています。

◆ 障がい者が従事している作業内容と雇用に関して工夫していること

障がいのある方が従事している作業内容は、洗濯機・乾燥機への出し入れ、たたみ、アイロン、ポケットのチェックなど、個々人の能力や適性に応じた内容となるように配慮しています。作業中は、お互いに声を掛け合うなど、アットホームな雰囲気心を掛けています。

平成16年には、第一種作業施設設置等助成金(※)を活用して「シーツの自動たたみ機」を導入し、作業負担の軽減と作業の効率化を図っています。

※ 第一種作業施設設置等助成金とは、障がい者の雇用の促進を図ることを目的に、障がい者の就労上の課題を克服する作業施設等を工事、購入等により設置・整備することを助成するもの。

◆ 障がい者雇用を検討している事業所へのアドバイス

「障がい者ができそうにないことばかりを思い浮かべるのではなく、何か1つでもできそうなことを見つけ、それを雇用に結び付けます。障がいのある方は、作業に慣れるまでは時間がかかりますが、いったん慣れてしまえば、飽きずに真面目にやってくれます。単純な作業でも真剣に取り組んでくれます。」【佐藤 工場長】

取材当日、実習生が作業をしていましたが、その実習生を指導していたのは、勤続18年の障がいのある方でした。指導をしつつも、自分の作業を手際よくこなしており、長年の努力の賜物であると感じました。

◆ 就労を希望している障がい者へのメッセージ

「外へ1歩踏み出す勇気とやる気、それが大事です。今は、その1歩が踏み出せずに留まっている方も多いのではないのでしょうか。従業員の中には、就職してから一生懸命働き、持ち家を買った人もいます。嫌なことを恐れずに、積極的に外に出てほしいと思います。」【佐藤 工場長】

(取材：雇用対策・労働室)